

「アグリ・スマートシティ」に向けた実証実験のプロジェクトがスタートします

地域創生とインバウンド振興に貢献できる様々なソリューションを生み出す活動を行っている当協議会の会員企業3社が中心となり、地域に住んでリモートワークでの都会の仕事とその地域の特徴を活かした農業などの仕事を両立できる新たなコンセプトの街「アグリ・スマートシティ」に向けた実証実験のプロジェクトがスタートいたしますのでお知らせします。

- ・飛行機とICT(情報通信技術)を使い地域と都会の人とモノを最速でつなぐことによって、地域に住みながらオフィスワークなどの都会の仕事と地域の農業などを両立して、豊かなライフスタイルを満喫できる新たな街「アグリ・スマートシティ」を創っていきます。
- ・3社の持つ強みを活かしながら、多様な企業・団体・自治体の強みをオープンに持ち寄り、複数の実証実験を通じて試行錯誤することで有効な形を探る、アジャイル型で推進します。
- ・3月より実証実験に参加する企業・団体・自治体を募り、7月頃から複数の自治体にて実証実験を開始します。

「アグリ・スマートシティ」の構想は、山口県のワーケーション推進事業を支援するために当協議会にて会員企業より10名の参加者を集めて2021年12月初旬に実施したワーケーションモニターツアーにおいて、参加者が、現地でのリモートワークに加えて、様々な視察や体験、地域の人たちとの交流や意見交換、ワークショップなどを行う中で生まれてきた構想です。

その実現に向けて、上記ワーケーションに参加した会員企業の中で、ANA総合研究所、NTTコミュニケーションズ、鹿島建設（羽田みらい開発の代表企業）が中心となって検討を重ね、今般、実証実験のプロジェクトを開始することとなりました。

「アグリ・スマートシティ」に賛同し、本実証実験に参加したいステークホルダーをオープンに募集します。参加を検討される企業・団体・自治体は

<https://forms.gle/dz44AzdDZD61vXhAA> から申し込みをお願いします。

本取組に関する説明会は、3月下旬より羽田みらい開発が運営する羽田イノベーションシティにてオンラインとのハイブリッドにより順次実施します。

「アグリ・スマートシティ」の実現によって、将来、地域に移住する人が増え、地域の過疎化と首都圏への一極集中が緩和し、多くの人ワクワクする仕事と豊かな生活を両立できることをめざすことで、広く地域社会の発展に寄与していきたいと考えています。

このプロジェクトは、「多様な「知見」と「アセット(強み)」を持つ会員が、本協議会の「場」を活用し、共感に基づく交流と共創によって、地域創生とインバウンド振興に貢献できる様々なソリューションを生み出すことにチャレンジする。」という当協議会の方針に合致した取り組みでもあり、今後、当協議会会員（現在：企業側66、自治体・団体42、合計108会員）にも広く参加の呼びかけを行う予定です。賛同する多くの会員のみならず、ご参加を期待しています。

プロジェクトの詳細は下記の3社共同プレスリリースをご参照ください。（同一のプレスリリースです）

- ・ ANA ホールディングス株式会社 :

<https://www.anahd.co.jp/group/pr/202203/20220309.html>

- ・ NTT コミュニケーションズ株式会社 :

<https://www.ntt.com/about-us/press-releases/news/article/2022/0309.html>

- ・ 羽田みらい開発株式会社 :

<https://haneda-innovation-city.com/news/2022/03/09/1530/>

以上

<広報窓口>

一般社団法人地域創生インバウンド協議会 事務局

TEL : 03-6733-4125、 Email : info@inbound-council.com